

保険契約必要ない「同行訪問リハ」で目標設定支援

サービス開始前に、サービス導入により達成する生活目標の設定や、サービスのゴール設定を本人や家族と合意形成することが欠かせないが、ケアマネだけでは荷が重い。

契約なし（地域リハ活動支援事業）でリハ職がケアマネに同行訪問し、側方支援する。

自立支援「マネジメント」の導入時期には プランナーにも利用者にも「アテンド」が必要

自立支援の合意形成に苦慮するケース



退院直後でリハ介入していないケース



リハ同行訪問



サービス利用にあたって適切なゴール設定と本人への動機付け



自宅・周辺環境や外出評価、目標の設定



民間サービスや福祉用具利用導入を支援

期間や終了が合意形成された保険利用となる

効果

①プランナーの負担軽減及びスキルアップ

②自立支援サポート会議の実践

③R2年度より廃止される住宅リフォームヘルパーの補完

④短期集中からのサロンへの誘導など

予算（介護保険特会の地域支援事業費）

【総合事業の一般介護予防事業「地域リハビリテーション活動支援事業」】

年間で120回程度の利用を想定。

1.25回/月/各包括